

自己実現 2023

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第3回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉

平均点は模範解答、解説に記載の通り。古文・漢文は夏休みに取り組んだ者とそうでない者との差がひらいたが、全体として、夏休み前より少しは読めるようになっている。

現代文・評論は、問一～三の得点率は高かったが、問四の記述は未記入の者もいた。120字の記述だからといって難しいわけではない。怯まないで解答を作成して欲しい。また、問五、六、八はさほど得点率が高くなかったが、空欄の付近だけを見るのではなく、文脈を丁寧にたどって考える必要がある。問七の文学史問題程度の教養は、身につけておいてもらいたい。

現代文・小説は、よくできていた。ただ、ストーリー全体の雰囲気だけを把握して、選択肢を選んだり、記述の方向性を決めたりする者がある。問題の意図や、その傍線部が置かれている場面や前後を把握すること。

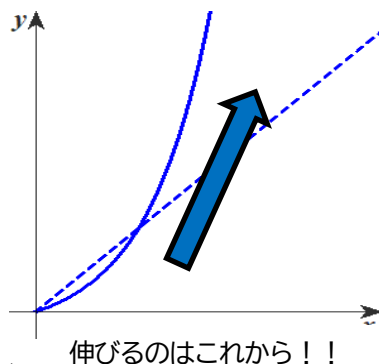
古文は、夏休みを過ぎても、文系・理系ともに、問一文法問題、問二敬語問題ができていない。入試で、たとえ文法問題が単独で出題されないとしても、これだけわかっていなかったら、雰囲気て読解するにも限界がある。覚えたことを使って着実に解いてほしい。また、記述に着手していない者が多い。時間配分を間違えたのか？軍記物語で、王朝文学に比べれば読みやすかったはずである。共通テストにしか古文が必要ないからか？書けない者に、正しい選択肢を選ぶことはできない。

漢文もしかりである。句法・語句の意味を拾い集めてください。誰が、誰に、何を言っているのか、理解しようと努めてください。

〈数学〉 平均点は、文系 42.5/200 理系 50.4/200 (総合理学科 85.2/200)。

第1回、第2回と同様、文系120分、理系150分の試験で、全問題が記述式での出題であったが、採点を通じて、答案作成力が上がってきているように感じた。200点満点では学習成果を感じにくいかもしれないが、日々の努力が結果に結びつくのはまだまだこれからである。秋の実力考査や模擬試験で夏の努力の成果が現れない生徒も多い。しかし、もしあなたが事前にたてた学習計画を着実に実行できているならば決して不安に思ったりしないで欲しい。現役生は入試に対応する力がつくまで時間がかかる。努力と結果の関係は、直線的なものではなく、指数関数的なものだとよく言われる。学習の初期ではなかなか成果が感じられないが、努力を続けていると「グン」と伸びる時期がやってくる。入試を見据えつつも、焦らずに目の前の課題をひとつひとつクリアすること。今後も実力考査や模擬試験が続くが、それらの結果に一喜一憂することなく、1月の共通テスト、2月の大学個別試験(私学を含む)を見据えて着実に学習を進めることが肝心だ。さて、入試に向けての学習の中心は日々の授業であろう。

2学期からは数学Xでも数学Yでも入試問題演習を行っているが、すべての問題に対してきちんと取り組んでいるだろうか。1回の授業で4問程度の入試問題を解くことになるが、これを毎日きちんとこなしていればかなり力がつくはずだ。逆に、予習もせずに授業を受けて、解説を聞いて何となく分かったような気になっているだけでは、結局体力と時間を浪費しているだけで数学の力がつかないことが多い。自身の数学の力を伸ばすためにはどのような取り組みが必要かをしっかりと考えてほしい。まずは授業を大切にすることである。



〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

【今後の学習の注意点】

- ①公式、定理の証明は教科書を読み直して理解し、再現できるようにしておく。
- ②自分が誤答した箇所の明確な把握を心掛ける。
- ③正解した自分の解答だけではなく、別解が書かれた解答も理解する。(一つの解き方に固執することのないように!)二次対策を授業に沿って11月下旬までしっかりしていくことが共通テスト対策にもつながる。

〈英語〉 《講評》

全体として、すべての問題を時間内に解くことができなかった生徒がほとんどかと思われる。長文問題の英文量が多かったことは事実だが、理想とする英語力があれば、問題を読むスピードも、解くスピードも速くなり、良い結果が得られるのは言うまでもない。そのため、今回のテストではある程度の英語力が備わっている者と、そうでない者のあいだで、結果にかなり差がある印象である。残念ながら、短期間で英語力を劇的に伸ばす方法はない。淡々と、こつこつと、学習を積み上げていくしかない。ただし今までのやり方が正しかったかどうかについては、テストや模試をよい機会として、反省する必要がある。英語力で伸び悩んでいる人は、圧倒的に学習時間が足りないか、以下のいずれかにあてはまるだろう。

- ・「語彙をつけてから」と単語帳ばかり見て、長文を読むのを先延ばしにしていないか。
- ・「文法問題は出ないから」と文法をおろそかにしていないか。
- ・「音読なんて無意味」と思っていないか。音読をサボっていないか。
- ・制限時間や時間配分を決めて問題を解いているか。
- ・時事問題や一般教養に興味を持って、積極的に情報収集しているか。

リスニング対策や音読、一般教養の重要性については、授業でもこれまでの実力テストの講評で述べてきた。ここでもう一度学習方法を振り返り、足りないものは何かを考えてほしい。また外国語の学習は、思考力・想像力・表現力を養う一生モノの力となることも意識してほしい。

【リスニング】 平均点 56.7 点

各回のリスニングテストで、平均点にはバラつきがある。今回の平均点は低め。間違えた問題はやり直すとともに、声に出して読んでみる。また、自分の苦手とする問題形式を分析し、どのような工夫が必要か考える。リスニング力を上げるには音読練習が必須。リーディングの教材でも内容を理解したら音読すること。

【自由英作文】 平均点 4.3/15 点

平均点が低い、それは答案を全く書いていないか、文章量が極端に少ない、指示に従って書けていない、などで加点の条件を満たしていない人が一定数いたためである。内容点については、15点満点中9点の者が最も多かった。その理由は次の①が最も多い。

- ①主題からずれた議論をしている。ずれを補うための説明が足りない。
- ②例や理由などを書けておらず、自分の主張を十分に補強できていない。
- ③議論が主観的になりすぎている。
- ④偏見とも言われかねない議論をしている。

文章のバランスの悪さや、論理の流れの不自然さがある者は、計画不足である。事前準備に、時間配分の3分の1を使うこと。自由英作文の経験が不足しているために、賛成反対の意見とその理由のフォーマットが書けていない者もいた。一定の形式があるので、それをまず覚える必要がある。自由英作文はそのパターンにしたがって文を書くだけで誰でも確実に点数が取れる問題である。また、多くの人が受験する、京都・大阪・神戸すべてで出題される試験形式である。練習の量によってかなり点数に差が出てしまうので、逆に前向きにとらえて、練習を積み重ねてプラスに利用すべきである。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

《 大問別・問題種別 平均点と正答率 》

大問	[1]	[2]	[3]		[4]	[5]	[6]
項目	長文	長文	長文	長文計	適語 選 択	同意文	適語 補 充
配点	33	33	34	100	10	10	10
全体平均	10.5	8.4	6.0	24.7	5.7	0.7	0.3
正答率(%)	31.8	25.4	17.6	24.7	57.2	7.3	3.1
普通科平均	10.1	7.9	5.6	23.6	5.5	0.7	0.3
正答率(%)	30.6	23.9	16.5	23.6	55.5	6.6	2.6
総理平均	13.7	12.6	9.3	33.7	7.2	1.4	0.7
正答率(%)	41.4	38.3	27.5	33.7	71.7	13.7	7.4

大問	[7]	[8]		[9]	[10]	[11]	
項目	並べ か え	誤文 訂 正	文法計	和訳	英訳	英作文	合 計
配点	16	6	52	16	17	15	200
全体平均	5.6	2.3	13.8	8.3	2.7	4.3	51.6
正答率(%)	35.2	38.8	26.6	51.6	16.0	28.7	25.8
普通科平均	5.3	2.3	13.3	8.0	4.3	4.3	49.4
正答率(%)	33.3	38.1	25.5	49.9	25.4	28.8	24.7
総理平均	8.2	2.7	18.6	10.5	4.1	4.1	69.6
正答率(%)	51.4	44.8	35.8	65.7	24.2	27.4	34.8

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈物理〉

大問毎の平均得点率と平均点は下表の通り。1 学期の実力考査よりも平均点が上がることを期待していたが、そうはならなかったことが残念である。

	第1問 万有引力	第2問 熱運動	第3問 電気	得点
全体	29.4%	40.8%	14.8%	26.4
普通科	27.5%	38.7%	12.5%	24.2
総理	39.0%	51.2%	26.5%	37.6

第1問は万有引力の問であった。試験後、「万有引力が出るとは思わなかった」という声がちらほらと聞こえたということは、夏休み中に万有引力まで手が回らなかった生徒が多かったと思われる。確かに、万有引力は力学の他の単元と比較して出題される頻度が高い単元ではないが、**2022年春**の入試では、東大、東京医科歯科大、九大、同志社、関学といった大学で出題されており、決して「入試に出ない単元」ではない。また、出題される場合は典型的な問が多い。総復習をするのに時間がかかる単元でもないので、1~2日かけて万有引力の問題に取り組み、得意な範囲としてもらいたい。

第2問は気体分子の熱運動に関する問いで、教科書のP. 114~P. 117 (総理は上巻P. 202~P. 205) の流れがそのまま問になるという形式である。**2年時**に学習した際、そのまま出題されることが多いということを伝えており、難問ではない。得点率は低くはないが、+、-を間違えた生徒が多く、細部まで気を付けて解くことを意識しなければいけない。

第3問は入試で頻出のコンデンサーの問題。(1), (2)は特に公式を覚えておけば必ず解けるサービス問題にしたつもりであるがここを落とした生徒が非常に多く、当然その後の問いも不正解だった。「比誘電率」と「誘電率」の区別がついておらず、「比誘電率」を「誘電率」として使用したことが原因。今一度語句や公式を確認しておくことが必要である。また、頻出のコンデンサー問題はどのパターンで出題されても解けるようにしなければいけない。

〈化学〉 受験者 220人 平均 32.7点 (最高点 85点, 最低点 5点)

夏休みに計画的に取り組んだ人はその成果が出たのではないだろうか。**大問1**は、蒸気圧の基本的な問題である。蒸気圧の考え方がしっかり理解できていて、落としてほしくない問題である。できなかった人は蒸気圧の扱いは必ずマスターしてほしい。正解率も**72%**でよくできていた。**大問2**は酸・塩基の中和反応、緩衝液、加水分解に関する問題である。緩衝作用するときの量的関係や中和点での加水分解が起きる塩のpHを求める問題も定番であるので、この問題でしっかり理解してほしい。正解率8%とかなり低かった。**大問3**は炭酸ナトリウムと炭酸水素ナトリウムの混合物の問題である。関わっているそれぞれの物質の性質を理解し、加熱後の状態を考え、必要な条件を見だし計算するように。正解率は**25.5%**でもう少しできてほしい問題であった。**大問4**はイオン交換膜を通しての電気分解の問題である。陽または陰イオンが、それぞれどのように移動するのかがわかれば、難しくない問題である。正解率は**23%**であった。大問5は銅に関する問題で、正解率も**44.5%**と比較的高かった。覚えることが多い無機物質分野であるので、基本的な性質や反応はかならず早めに確実にしたいものである。**大問6と7**は、有機化合物分野の脂肪族と芳香族関連の問題である。正解率はそれぞれ**34.5%**と**22.6%**であった。もう少しできてほしい問題であった。官能基による反応をしっかり覚えておきたい。基本的な反応のパターンは決まっているので、問題の物質にあてはめて考えることになる。今回の問題も、基本的内容が含まれているので、しっかり復習して力を付けてほしい。

夏休みから本格的に学習していると思われるが、そのペースを崩さずに、できていない分野の問題をしっかり復習し、繰り返し取り組んでほしい。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈生物〉 受験者 37人 平均 35.0点(最高点 85点, 最低点 5点)

近年増加傾向にある遺伝(メンデル遺伝)の問題, ゲノム編集, トランスポゾン, 遺伝子治療, がん治療やコロナの治療に用いられる抗体医薬品等についての問題を出题した。

50点以上が7名, 30点以下が16名と前回に比べ少しづつではあるが改善しつつある。一部の生徒が生物の学習時間を増やしているが, 学力の差が大きくなってきている。標準偏差が前回の13から20へと広がっている。また, **85点が2名**と東京, 京都や医学部レベルに到達しており, 5割前後であれば旧帝大に届くレベルが視野に入る。このレベルが2桁を超えてくることを期待している。

9月に入り, 本格的に生物の受験対策を生徒に求めていく時期に来ている。大学入試で合格するためには英数国の力だけでは不十分である。今回の実考で気になるのが得点の低い生徒は基本的な語句や用語すら学習できていない。生物の学習時間を確保し基礎学力を充実させるのが今後の課題である。

〈世界史〉

1 出題内容

大問1 …単問集(超基礎レベル～東大京大レベル短文論述まで)

大問2～7…共通テスト+難関国立私立大形式。資料読解を伴う実力問題

(2(2)(4)、3(2)(7)、4(1)、5(1)c、6(1)(2)、7(4)は高度な思考力問題)

大問8・9 …文系私立大、国公立二次形式(すべて標準レベル)

大問10 …論述形式(資料読解のせいで難しく見えるが△なら取れる。○までは難。)

2 分析

- ・単問記述式の問題(小論述と「善」は除く)26問中、山川用語集の⑤以下の語句を問う問題は3問(礼記、マッカーシー、日独防共協定)。『礼記』は難。コント⑥ですが正答者1人。誤答は惜しいものからとんでもないものまで様々。同じ×でも違うので注意。
- ・並び替え問題は相変わらず弱い。また、夏季補習でも感じたが、頭の中に世界地図ができていない。アッパース朝から滅ぼすって、モンゴル軍は飛行機に乗ってたの？
- ・資料読解問題は、今年度難化が予想されるのでかなり難しく作問しました。あきらめずに読解しようとしたことが、本番に生きます。読解の速さも意識しましょう。
- ・論述問題、練習した人たちのレベルは上がっています。採点しやすい。また、論述が不要だとしても、取り組んで△を取れる人が増えています。

3 指導方針・学習の心構え

鉄則「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」
そろそろ文化史も抑えはじめましょう。

〈日本史〉

1 出題内容

【1】 御成敗式目・鎌倉幕府の支配機構と荘園制 **【2】** 古代文化史

【3】 院政期、鎌倉の政治と文化

【4】 明治中期から大正期の政治史

【5】 明治期～昭和初期の文化史

2 分析

今回は文化史からの出題が多かった。ただし文化史については単純な出題が多かったので予想していたよりも正答率が高く復習が進んでいる人もある程度いたように見受けられる。やや細かい内容も出題されたが、今回の出題内容で正答率40%程度あるものは基本的な内容である。落とすとダメージが大きいので誤答した場合は要復習である。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

近現代政治史も大まかな内容を復習することができている人も多くなり内閣と政策の対応関係をうまく理解できるようになっている。ただし中世史に関して、得宗政治の展開は1学期に直近で学んだ内容にもかかわらず、まだ整理ができていない。得宗の名前と政策の対応関係・時系列が覚えきれていないので要復習である。

長文の論述問題を2題出題したが、徳政令についての論述は模範解答に近い内容が書いている人も複数いた。論述を講習や自学自習で取り組み演習した人に関してはその成果がみられたといえる。

2 題目は近代地主制の成立と崩壊についての記述で完解は大変なので、どのような展開をしているかを差し当たり教科書レベルの内容で良いので確認してほしい。

3 指導方針・学習の心構え

近現代に比べ前近代史についてはまだ大きな流れをとらえきれていない印象をうける。前近代史は3年からの学習範囲なのでどうも内容の理解がまだ定着していない。古代・中世の授業が終わり近世史に入りつつある今、そろそろ大きな流れをとらえるように古代・中世史の復習をする必要がある。特に名前が似た人物が多い前近代史の政治史は取り違えが多発しているので意識して覚えよう。

<地理>

平均56点 2年生の学習内容を中心に出題した。問題のレベルはやや難しいと私が考える問題を厳選した。今の段階は細かい知識が身につけていないのは仕方がないが、これからはそのような受験知識も使えるようになって欲しい。地理の場合は受験知識があつて、すぐに解けるような問題は少ない。大地形、気候、人口、豊かさなどの要素を加味して問題を解くことになる。これからも演習とともに小テストにまじめに向き合って欲しい。

<倫理政経>

政治経済分野の平均点は18.9/50。政治分野のみから出題した。計算問題の出題が2題あったのが特徴的である。ドント方式の計算問題は29%の正答で低かった。ドント方式の計算方法、議席占有率は落ち着いて計算すれば必ず出来る問題であるので、間違えたものは一度解きなおしてほしい。政経の計算問題は難しくはなく慣れれば必ず解けるので演習・復習が大事である。また44の地方自治団体の解散・解職請求の要件に関する問題の正答率が28%と低かったのは今回特に気になる。地方自治の直接請求権に関する要件は必ず覚えておかなければならないので、疎かにしてはいけない。また国事行為の問題37も難易度のわりに35%と正答率が低かった。何が任命の必要な役職なのかよく復習・確認する必要がある。

以上の問題に通じることである全体的に手続きの要件(何割必要か・どのような順序で行うか・だれが主体になるか)についての理解があいまいで不十分なように見受けられる。読解力よりは暗記力・理解力が問われる問題なので失点するのはもったいない。記憶から抜け落ちてくる内容は繰り返し覚えなおそう。

倫理分野の平均点は24.3/50。ギリシアから日本の国学までの源流思想と青年期の問題を出題範囲とした。世界の源流思想は正答率48%で、70%を越える正答率の問題がなかった。教科書をよく読み、各思想家の考えを整理して欲しい。日本の思想は正答率が48%。法然の布教方法など基礎的な知識を取りこぼしている印象がある。青年期の問題は正答率が53%。資料読み取りはよくできているが、試行テストで提案された、3つの文章のうち、誤りがいくつあるかという問題で、全て正しいという答えが導き出せなかったことが目についた。選択肢の文章をよく読み、その内容に対して自信を持って判断できるよう、問題演習を積み重ねて欲しい。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

■〈校外模試の案内について〉河合塾オープン・駿台実践模試の締め切りは終わりました。

これから間に合う外部模試の案内は以下に紹介します。

【代々木ゼミ大学別プレ】※特別会員再募集(¥4,000)で、申し込みは9/27(火)の放課後に進路資料室前(15:15~16:30)です。すでに特別会員の手続きを済ましている人は以下の模試は無料で受験できます。〈ただし、どの模試受験するかの申し込みは必要です〉

早稲田大プレ(10/23), 慶応大プレ(11/3), 第2回東大プレ(11/6), 第2回京大プレ(11/6), 第2回共通テストプレ(11/20), 北大プレ(11/20)

【北九州予備校】九州大・広島大プレテスト(11/3):センタープラザ西館6F(会議室)
申し込み用紙は進路資料室前に有。各自QRコードで申し込むこと。

【高松予備校】岡山大・香川大オープンは10/23(日):本校にて実施;
申込用紙は今月中に進路指導室部の松下まで取りに来ること。

※【告知】11/27(土)全統プレ共通テスト(河合塾)と12/11(日)駿台 atama+プレ共通テストの申込用紙はまた後日配布する予定です。希望する生徒は学校を通して申し込んでください。

■10月下旬に実施予定のマーク模試について

10/21(金)・22(土) … 「第3回全統共通テストマーク模試」

〈時間割〉

- ・10/19(水) 中間考査終了後(終礼) 受験届記入[10/21(金)放課後まで]
- ・10/21(金) 授業終了後 マークシート配布
15:30~16:40 数学ⅠA(70) 16:50~17:50 数学ⅡB(60)
- ・10/22(土) 08:20 着席完了・マークシート配布

<u>1~3組(文系)</u>	<u>4~9組(理系, 総理)</u>
08:30~10:40 地歴公民(130)	08:30~10:40 理科(130)
10:50~11:50 理科(60)	10:50~11:50 地歴(60)
- 1~9組 12:25 着席完了
- 12:30~13:50 国語(80)
- 14:00~15:20 英語(80)
- 15:30~16:10 リスニング(40) [ICプレーヤー使用の説明(10)を含む]
- 16:10~17:00 自己採点

都合があってもどうしても受験を別日程で受けたい人は進路指導部(松井先生)に申し出てください。10/23(日)を予備日とする。

〈注意事項〉

- ※ 大学入学共通テストで受験する予定の科目の選択を可とします。(例えば、公民の選択科目を「倫理」や「政治・経済」にすることができます。)
- ※ 文系で理科②を受験したい者、理系で文系学部を受験する予定の者(つまり理系のセンター試験で、地歴公民2科目を受験する予定の者)または理系で理科の試験時間に「理科①+理科②1科目」の型で大学入学共通テストを申し込んだ者等は、この型の受験を可とします。前述のようなイレギュラーの受験パターンを希望する生徒は10/6(木)迄に必ず進路指導部の松井先生に申し出てください。

【後記】共通テスト志願票の取りまとめが無事完了し、9/26(月)に発送する予定です。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。